



今年は戦後75年

やり方を工夫して必ず考動する機会を作ります!

まずは、Peace Now!を知ってほしい…

大学生協連会員生協の組合員を対象とした、**平和を考えるための「体験型プログラム」**です。世界でたった2都市の被爆地である「**広島**」「**長崎**」、日本で唯一住民を巻き込んだ地上戦が行われた「**沖縄**」の3地域で開催します。当日は被爆者や戦争体験者の証言を聞いて当時の様子を追体験したり、今も残る戦績を巡ったり、参加者同士が自分の考えを交流したりして、平和についての考えを深めます。



現地で実際に「見る」

戦跡や石碑、資料館、米軍基地など、さまざまな場所に赴き、見て学びます。教科書やメディアでは学べないこと、イメージできないことを自分の目や耳、肌で感じるすることができます。

生の声を「聞く」

戦争を体験した方や現地に住んでいる方から、戦争当時のことや今抱えている問題を**直接聞きます**。大きな出来事や問題を、一人ひとりに関わる問題として知ることによって、深く学び考えることができます。

全国の仲間と「話す」

全国から集まった参加者と、自分の想いや考えを伝え合います。様々な考え方を知り、自分の考えを整理し深めることができます。それぞれの地に戻った後も励まし合える**全国のつながり**ができます。

Peace Now!をつくる現地実行委員会

Peace Now!の内容は、**その地域の大学生が中心**となって作ります。現地で過ごす学生が感じている、考えている、伝えたいことがつまっています。同じ大学生が持つ想いに触れることは、参加者の意識を変えることができます。



(2017年度参加者)

ただの某観客ではなく、平和を願う一市民としての意識がしっかりともてるようになった。

(2019年度参加者)

過去に参加した人の声

72年前、この沖縄という地で起こってしまった出来事は、容易には想像しきれないが、戦争も平和も同じ人間がこの場所に存在し、生きていたのだという実感は滲みわたる。そして、今ある「平和」も戦争の犠牲という常識は、戦後分まで平和を築こうとし続けてくた人の血の跡に託された

開催目的

平和とよりよい大学生活を掲げ行動してきた大学生協として、第二次世界大戦における日本や大学生協の経験から平和な社会の大切さを確認すること、人類がともに目指す普遍的価値の一つとしての「平和」をこの先の社会において実現することのため、「過去を省み、自分達の社会の未来を見据えて、今を考え行動できる組合員を増やす」ことを目指して

- ・組合員に「平和」に関する事柄に興味を持ってもらうきっかけを提供する
- ・組合員に「平和」について考え、他の人と深め合う経験を提供する
- ・組合員が「平和」について考え、自分で考え行動しようと思えるようになる

の3つを目的としてPeace Now! 2020を開催します。

※詳細は後日発信される開催要項をご覧ください。※新型コロナウイルスの影響で変更になる場合があります。

Hiroshima

- ・原爆ドーム
- ・平和祈念式典
- ・平和祈念資料館

など



Nagasaki

- ・浦上天主堂
- ・原爆資料館
- ・平和祈念式典

など



Okinawa

- ・平和祈念資料館
- ・米軍基地
- ・体験者の講話

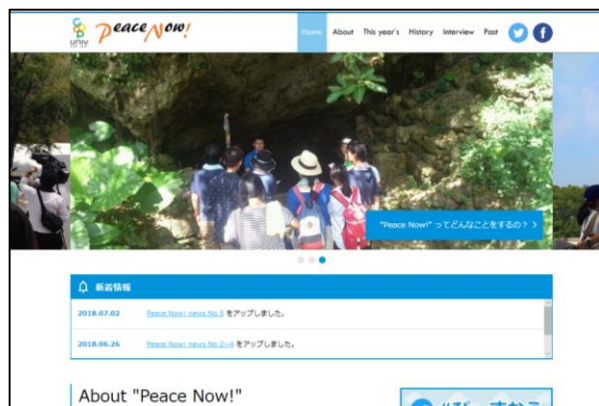
など



企画詳細・申込方法は5月下旬に発信予定です！

例年通りの開催は難しいけどこの情勢に潰されていいプロジェクトではない！
現地実委と一緒に準備を進めます。健康第一で、続報をお待ちください！

Peace Now! が気になっているあなたへ！



インタビュー記事や
過去のPeace Now!の情報などが
あります！

全国大学生協連HPには

Peace Now!特設ページがあります。

<https://www.univcoop.or.jp/peacenow/index.html>

- ▶ これまでのPeace Now!
- ▶ Peace Now!をそれぞれ紹介
- ▶ インタビュー活動

などを見ることができます！

二次元バーコードを読み込んで見てみよう！

